

(クソでかふたなり様に好き勝手に呪われて犯されるされるマゾオス向け音声作品)

(トラック① 初対面での洗礼)

(中・中)

あら、執事さん。

(ゆっくりと、見下すように)

わたくしを前にして、

ずいぶんと情けない顔をしているわね。

新しい主人に対して、

その態度はあまりにも失礼じゃなくて？

まるで怯えた子犬みたいに、ぶるぶると震えてしまつて、

(嘲るように、くすつと笑い)

見苦しいったらありやしない。

……あら、そんなに驚いた顔をして。

(余裕たつぷりに、ゆっくりと低めの声で)
わたくしのこの、

二メートル近い巨軀を目の当たりにして、
腰を抜かすほど驚くなんて、

まったく、

これが杉並家の執事のあり方だというの？

あなた、

今日からわたくし専属の執事として

この離れ小島のお屋敷に派遣されてきたんでしょう？

(軽く鼻で笑い)

どうせ、私を、化け物とでも噂されて、

怯えているんでしょうね。

お可哀想に――小さな頭で勝手な妄想を膨らませたあげく、
こんなにも醜態を晒してしまつなんて…

ほーら、

そのみっともなく震えている、

なっけな—い矮小な身体を、

じっくりと見下して差し上げるわ。

さあ、

さっさと謝罪なさい？

（楽しみに、嘲るように）

ふふっ、当然のことよ。

初対面で主の機嫌を損ねる執事が、
どこにいるというのかしら。

せめて、

これ以上わたくしの機嫌を悪くしないように、

（冷たく、低めの声で）

精一杯の謝罪をなさいな。

——ふうん、なるほど。

「申し訳ありません、お嬢様」……？

（わざとゆっくりと復唱し、ため息をつく）

そんな薄っぺらい謝罪で、

わたくしが満足するとても？

ならば、

聞かせていただくかしら。

あなたは一体、

何に驚いて、何に怯えたというの？

（低めの声で詰め寄るように）

主人に対して、

隠し立てするつもりではないでしょうね？

……ふーん。

わたくしの身体が、

想像以上に大きかったから？

そのせいで腰を抜かしてしまった？

(呆れたように)

——はあ……まったく、あなたという人は、
想像力というものが欠片もないのね。

少しでも考えることができれば、

主人を前にして、

そんな無様な失態を晒すなんて、

あり得ないことだと

理解できるでしょうに。

(少し間を空けて、楽しげに)

さて、どうしてくれようかしら。

あなたのような、ふふっ……

文字通り取るに足らない小さな人間に、

どうすれば反省を

促すことができるかしらね。

(ゆっくりと冷たい声で)

まずは、せめてもの礼儀として——

床に額をこすりつけなさい。

その無様にわたくしを見上げる、

気持ち悪い顔など、

これ以上、見たくはないのだから。

(中・中)

ほーら、

床に頭をこすりつけて…

しっかり最上級の謝罪をしなさい？

(ゆっくりと、余裕たっぷり)
小さな人間のあなたでも、
それくらいはできるでしょ？
ふふっ。

(中・近)

ほーら、
床にこすりつけている頭を、
わたくしの30センチの足裏で、
(足を押しつける感覚を込めて、ゆっくりと)
ゴリゴリ、ゴリゴリ、ふふっ。

(楽しみに)

どうですか？ 主人の足の威力は。
素晴らしいでしょう？

(じわじわと踏みつけながら)

常人では出せないほどの脚力で、
あなたのことを踏みつぶしていますの。

(軽く息を吐き、冷たく)

ほーら、
潰されたくないのでしたら、
わたくしに早く、許しを請いなさい。

(間を取り、ゆっくりと)

わたくしの容姿について、
想像力がないあなたのせいで、
不快にさせてしまつて、
申し訳ございませんと――

(ググッと力を込めて足を押しつけるように)
ほーら、主人に命乞いをなさい。

(ふっと笑い、愉悦を込めて)
もしこれ以上わたくしのことを
不愉快にさせたら……ふふっ、
わたくし、本気であなたのことを、
すりつぶしてしまうかもしれないわ。

(さらに力を込め、焦らすように)
ほーらほらほらほら♪

(ゆっくりと、勝ち誇るように)
ふふっ、そう。
あなたに非があることは
認めるのね？ふふっ。

(小さく鼻で笑い)
お許ください、お嬢様——？

(軽蔑するように)
何、虫がささやくような小さな声で、
懇願しているのかしら？

(更に重みを寄せ、低く囁くように)
本当に謝罪の気持ちがあるなら、
わたくしの体重を片足に乗せられて、
踏みつぶされていても、
しっかりと声が出せるはずです。

(じわじわと、圧迫感を強める)
ほーらほらほらほら♪ふふっ。

(少し楽しげに)
ねえ、想像してごらんささい
に桁を超えるわたくしの全体重が、
このかかとに一点集中したら、
どうなってしまうかしらね？

（じっくりと追い詰めるように）
ほーらほらほら、ふふっ。

か細い声で許しを請う

あなたの無様な姿、

わたくしはしっかり

目に焼き付けていますよ？

（嘲笑しながら、優しく囁くように）
ふふっ、

良いですよ？

あなたみたいな小さな人間は、
わたくしのような

とても大きな存在に

踏みつぶされるのは

当たり前のことなんですから。

（冷たく囁き、甘く煽る）

受け入れるのは

あなたの責務の一つです。

（しかし、一転して冷酷に）

ふふっ、ですが、わたくしは許しません。

（足をググツと押しつけながら）
初対面の主人に、

不快な思いをさせたあなたのこと、

おいそれと許してしまえば、

当家の沽券にもかかわりますからね。

（じわじわとプレッシャーをかけるように）
ほーらほらほら、ふふっ。

（少し間を空け、考えるふりをしながら）
まあ、良いでしょう。

（ゆっくりと語りかける）

知らなかったのであれば、

しつけをするのも主人の責務ですからね。

（楽しげに微笑みながら、ゆっくりとした口調で）

ほーら、床に頭をこすりつけられ、

わたくしに体重を預けられ、

まだ上を

向くことはまかり通りませんよ？

（妖艶な微笑みを浮かべて）

ほーら、わたくしのおパンツをズリ下ろして……

（ゆっくりと、ねっとり）

ぬーぎぬぎ……ふふっ。

あなたのことを片足で踏みつぶしながら、
器用にもう片足を上げてー

ふふっ、

おパンツを

脱いで差し上げましたわ。

（低く、圧をかけながら）

さーて、教育の時間です。

表を上げなさい？

（間を取り、ねっとりとした笑みを含めて）

ん？ ふふっ……何ですか？

恐れ多くて、

コウベを上げられないのですか？

（冷酷に、しかし静かに圧力をかける）

いいですか？ 命令します。

表を上げなさい。

（ゆっくりと、冷たく）

あなたのような小さい人間は、
わたくしの言葉に逆らうことは許しません。

（静かに、しかし威圧感を込めて）

ほら、もう一度命令します。

表を上げなさい？

（突然、嘲るように笑う）

ははっ……どうしたのですか？

あれほど想像力の欠如を

指摘したというのに…

（ゆっくりとした口調で、追い詰めるように）

わたくしのこの股間に、

お手玉ほどのでーっかい両金玉と、

天を突きさすほどの

大きなふたなり竿が、

あなたの目の前に

降臨してしまいましたよ？

（ニヤリと笑い、声を低くする）

ほーら、

この……

ガチガチに勃起してヒクヒクしている、

血管浮き出たデカい肉棒…

今から口穴で

ご奉仕をなさい？

（嘲笑しつつ、しかし命令口調で）

執事として、

主人のわたくしの

おちんぼの面倒を見るのは

当たり前のことですからね？

ん？ 何ですか？ ふふっ……

わたくしにこんなデッカい

ふたなりおちんちんが

ついているのなんて、

想像もできませんでしたか？ ふふっ。

(間を取り、ゆっくりと一言一言を強調)
やはり……

想像力が欠如した人間というのは、
哀れなものですわね。

(ゆっくりと囁くように、楽しげに)
ほーら、わたくし、ふふっ……
化け物と呼ばれているのは、
このおちんぼのことですよ？

(一瞬、間を置いてから、低く威圧的に)
血管が浮き出ている、
それでいて鼓動をすることを止まない……
ビクビクちんぼ、ふふっ。

(冷徹に、少し興奮を込めて)
これを見た殿方は、
わたくしのことを皆、
こう呼びますの。

「離れ小島の化け物お嬢様」とね。

(間をとって、ゆっくりと)
まあ、
そんなことはどうでもいいですの。

このガチガチ勃起して
ムラムラのデカおちんぼを、
今すぐ舐めて、金玉に溜まりまくったお嬢様ザーメンを、
排出させなさい？

(ふっと笑い、軽く楽しむように)

この前のメスメイドは、

「週間で壊れてしまったけれど、

(ゆっくりと囁くように)

あなたは何日

耐えられるかしら？

(急に声を低くし、威圧的に)

ほーら……逃げようと思っても、

わたくしの100を超える握力で

頭を握りつぶして…

(グッと力を込めるように)

ほーら、おちんぼの前に

持つて行ってやりましたわ。

ほーら、

今からこのちんぽに刻まれた……

しわの1本、1本まで

愛おしそうにナメナメしなさい？

(冷たく、楽しげに命令)

ほーら、しゃぶれ……しゃぶれ♪

(中・近)

(ねっとりとし、興奮を抑えきれない声で)

デカちんぼの裏筋を、

ほーら、あなたの顔にズリ付けて、

(興奮しながら、笑みを交えて)

ふふっ、

わたくしの我慢汁で、

オスの顔、びしょびしょに…

(熱を帯びた吐息混じりに)

ああ、嫌がるマゾ顔、

たまらなく興奮してしまいますわ、。

(囁くように、支配するように)

ほーら、ああん、口まんこ開いたら、

強制的に、ほら、デカ亀頭を口に差し込んで、

(息を荒げ、悦に浸りながら)

ああ、ふふっ、

入りましたわね、

わたくしのデカちんぽ、。

ただ、

しつけがなっていないマゾですわねえ、？

(低く、わざと挑発するように)

わたくしのちんぽの、

亀頭しかおしゃぶりできないなんて…

主人に対して失礼ではないですか

ほーら、

ゴホゴホ言っでないで、

わたくしが腰を突き出して、

デカちんぽを喉の奥まで踏み込んで、！

(恍惚とした声で、全身を震わせるように)

おおっっ……

おちんぽ……おちんぽ……おちんぽ……っ♡

(荒く息を吐きながら、ビクビクと震える)

ああっ……

今日、オナニーをしてなくて……っ♡

金玉ザーメン……

溜まりまくった……ふたなりお嬢様の……

(震えながら、官能的に)

くっさくて……黒くて……

あああっ……ッ♡♡

(喉を鳴らし、声を震わせながら)

血管ビキビキに張り詰めて……

心臓みたいに……

ドクドクッ……ドクドクしてるぅ……♡

エロちんぽ……ッ♡♡♡

(吐息混じりに、さらに快楽を噛みしめるように)

あああっ……ッ♡

ちんぽしゃぶり、慣れてない……

新人執事の……お口おまんこに……

(腰を押しつけ、悶えるように)

ズリッ♡♡♡んああっ……♡♡♡

ああっ……

気持ちいいっ……気持ちよすぎますのぉ……♡♡♡

(執事が苦しむのを嘲るように)

ほら、いくらゴホゴホ言っ

ちんぽから逃げようとしても……

(冷たく、しかし興奮に震える声で)

わたくしのほら、

両手で頭を押しえつけて、

オナホにしてやってるから、

絶対に逃げられませんわよ？

(荒く息を吐きながら、支配欲に満ちた声で)

ほーら、

オナホ執事、

わたくしのガチガチデカおちんぽで、

ザーメン射精させられる準備なぞい？

（息が乱れ、興奮が頂点に近づく）

わたくしのほら、

ああん、もうおちんぼ金玉は上がりまくって、

おザーメントクドクちんぼ竿に運んで、

おザーメンぴゅっぴゅする準備、していますわよ、？

（腰を打ちつける音を想像しながら）

ほーら、中腰になって、

ニメートル近いわたくしの巨軀を、

へこへこ、へこへこ、へこへこ、！

（狂気的な喜びを滲ませながら）

チンぷり能力使って、

ガニ股の

お嬢様口パコオナへこ、

マジで気持ちいいですわー、！

ほーら、わたくし自身が、

両金玉マッサージしながら、

ほーら、

でかでか金玉からザーメン発射する準備

していますわよ、？

（少し狂気を滲ませながら）

言っておきますけど、

わたくしのおザーメンは、

そんじょそこの

オスザーメンほど貧弱なものではありませんわ、。

まるで、

全力で炭酸飲料を振り続けて、

爆発させるほどの、

デッカいぶっぱなしザーメン、！

（狂喜乱舞のように）

ほーら、受け止めなさい！

（やや右・近）

あーあふつどーう？

化け物お嬢様がーふふっ♡

ふたなりちんぽぶっ放して

とーっても気持ちよくなつて

執事として光栄でしょう？ふふっ♡

（右・密着）

（至近距離で、囁くように）

それでは…

ようこそ、離れ小島の当家に♡

これからたーくさんふふっ♡

わたくしにご奉仕させてやりますから

そのつもりで♡

（執事の耳元に唇を寄せて、囁く）

ああ後、ふふっ♡

この離れ小島には

あと一年間は

迎えの船はやって来ませんから

そのつもりで居なさい？♡

（ゆっくりと執事の顎を掴み、冷たく、支配的に）

もう逃げられることなんて

ぜーったいに無いのですから♡

（囁きを更に甘く、耳元で息を吹きかけるように）

わたくしの所有物になっちゃいなさい♡

わかりましたか？ウッフ♡

(トラック②ふたなりお嬢様の調教開始)

(中・近)

(ゆっくりと、冷たく楽しげに)

ほーらほらもうすぐ、

その惨めなおちゃんほ

わたくしの足で潰されてーふふっ♡

両金玉ともなくなってしまうますわねー♡

(相手の恐怖を楽しむように)

ほーらもう一度聞いてあげますからー

素直に言ってください？ふふっ

わたしの

デカお金玉に

しっかりご奉仕できるかしら？

(足で転がすように、じっくりと圧をかけながら)

ほーらほら

ほーらほらーふふっ♡

(軽くため息をつき、嘲るように)

ふう

男だから、オスだからと

ふたなりお嬢さまの

朝立ちちんぼのしゃぶるのを拒むなんて…

執事として教育がなってませんわねー

ほーらそのなっさけなーいマゾ金玉♡

主人であるわたくしの一存で

いつでもすりつぶせますわよ？

(ピラニアの話をするたびに、さらに圧を強める)

こーんな小さいお金玉

わたくしの足ですりつぶしてー

わたくしが飼っているピラニアのエサにでもしてやろうかしら？

（相手の恐怖を楽しむように、ゆつくりと）

とーっても小さくて食べ応えなさそうだけど♡

（ねっとり囁く）

わたくしのペット君たちは

きっと喜んで平らげてくれますわよ？♡

（圧をさらに強め、相手の抵抗を嘲笑しながら）

おおーほーらほらほーらほらー♡♡♡

（中・近）

（冷たく、見下すように）

ん？「申し訳ございません、お嬢様」？

（鼻で笑うように）

そんな言葉だけの謝罪

誠意が、まったく伝わってきませんわね？

（ゆつくりと、しかし威圧的に）

わたくしに逆らってふっ

あまつさえ手を上げようとしたから

（少し間をおき、楽しむように）

わたくしの二メートル近い巨軀から繰り出された
振り上げビンタで

一発でのされて、気絶してしまったあなたに

今、制裁を加えているんですよ？

（低く、冷たく）

そーんな反抗的なあなたが

わたくしに二度と牙を向かない保証など

どこにもないのですから

信用できませんわね？

(ゆっくりとした口調で、試すように)
ほーら信用されたいというのであれば…

(少し間を空けて、意地悪く)
そのちんぼの皮よりも
価値が無きそんなオスのプライド

(ねっとり)
かなぐり捨てたところを
わたくしに証明してみせない？

(冷酷に、追い詰めるように)
もし失敗したら…

(間を置き、楽しげに)
両金玉がふっふっ
あなたのまたぐらに
ぶら下がっている保証は
できませんわよ？

(執事の様子を観察しながら)
ほーらほらほーらほらー♡

(軽く鼻で笑い、少し楽しげに)
ん？ふっふっなんですか？
「できるから解放してほしい」？

(急に低く、冷徹に)
そうですか
このあなたのご主人であるわたくしが
一度だけ
チャンスをくれてやりますわ♡

(ゆっくりと命じるように)
ほーら
ご自分で考えて行動なさい？

どのようにその

うっすーいオスのプライド

かなぐり捨てたところを

証明してくれるのかしら？♡

(中・中)

(ゆっくりと、見下しながら)

あーらあら♡

(嘲笑しながら)

ガニ股中腰落として

ダブルピースをわたくしに見せつけてー？

(クスクスと笑いながら)

ふふっ情けなーい

勃起してない

ブラブラちんちんをフリフリしてー

それがあなたの

忠誠の誓い方だというの？♡

そんなものちんぼの使い方知らない

童(わらべ)でもできますわ。

(蹴る)

ほーら

お仕置きのちんぼ蹴りっ！♡

(蹴り上げた瞬間、愉悦に浸るように)

ふふっおーおー♡

下からちんぼ蹴り上げられて

ダブルピースを浮かべながらいっ♡

白目のバカ顔を浮かべながら

倒れ込まなかったのは

評価してあげますけれど♡

(一瞬トーンを下げ、冷徹に)

ほーら早く、考えて行動しないと
もう一発、喰らわせますわよ?♡

(圧を強め、追い詰めるように)

ほら、ほら、早くしなさい?

ふふっ♡

(中・近)

(冷たく、嘲笑を交えて)

あらあらあーあ

情けなーいチンズリオナニー♡

(見下しながら、嘲るように)

両手を使って

無様にシコシコ♡

ノンテクニクのオナニー♡

ふふっ基本ではあるけれど♡

なかなかにわたくし好みの

いいプライドの

捨てられ方ではないですか♡

(ゆっくりと囁き、支配的に)

ほーらあなたが必死で

オナニーしてる姿をオカズに♡

わたくしもふふっ

一緒にぶっかけオナニーしてあげますわ?♡

(勝ち誇るように)

あなたのその

しょぼーいおちんちんとは違って

(ゆっくりと、言葉を区切るように)

でーっかいお嬢様の

ふたなりデカ竿を使った♡

(誇示するように)

エレガントなお嬢様オナニーをぶっこいて♡
あなたにザーメンぶっかけてやりますから♡

(支配的に、命令するように)

ほーらしっかり受け止めなさい？♡

(ゆっくりと、足を開きながら)

ああ情けない♡

中腰の媚びシコしてるオスをめがけて

デカちゃんぽゴシゴシゴシゴシゴシゴシ♡

(誇示するように)

ちんぽデカすぎるからーぶっこ♡

(ゆっくりと、なぞるように)

わたくしの大きな手のひらでも
包み込めないデカ竿を

(喘ぎ混じりに)

おおっ

先っぽだけ起用にズリコキして♡

おちんぽおザーメン発射に備えていますわ♡♡

(息を荒げ、快楽に震えながら)

おおっおちんぽ、おちんぽ♡

ゴシゴシちゃんぽコキオナニー♡

(甘く囁くように)

マジで気持ちいいですわ♡♡♡

(少し鼻で笑い、嘲りながら)

こんな情けない

プライド捨てたオスをオカズに

チンゴシオナニーして♡

(恍惚とした声で)

わたくしもう♡

ザーメンぶっ放して

あなたにひっかけてやりたくなりますわ?♡

(急に冷たく、しかし支配的に)

ほら主人のわたくしだけに

恥をかかせるんじゃないですわよ?♡

(命令するように)

わたくしもでっかいちんぽ♡

あなたに先っぽ向けて

チンゴシオナニーセンサー早くぶっこいて♡

(ねっとりとした口調で)

普段つけているちんぽの

仮性包茎皮まで動員して♡

(喘ぎを混ぜながら)

ちんぽの

ああ〜オナコキちんぽ皮にして

ぶっこいて差し上げてるんですから♡

(甘く、支配するように)

あなたも一緒に放ちなさい♡♡

(中・近)

(荒々しく息を吐きながら、快樂に震えて)

おお〜出る出る出る

(息を荒げながら、勢いよく)

デカちんぽから

中腰へコヘコチンズリ射精に

オスにぶっかけ射精に

ああ〜メートル以上離れて

顔までぶっかけられる♡

デカデカ金玉から放たれる一撃ゝ

ほーら喰らいなさい？

（絶頂に向かい、息が荒くなりながら）

ああ

出る出る出る

お嬢様のお金玉キュンキュン射精ゝ

ぶっかけザーメンでりゅつつ

（射精の快感に震えながら）

おおゝ出てる出てる出てる

大量のびゅーびゅーふたなりザーメンに

オスに狙いをつけて

ちんぽ射精の的にして

センズリぶっかけ射精に

完了しちゃいましたわ？ふふっ

（射精の余韻を楽しみながら、優越感たつぷりに）

それにしても

あなたって情けないですわね

（少し笑いながら、見下すように）

わたくしのザーメン発射量の

10分の1以下の雑魚ザーメン…

射精しても床に

零れ落ちるだけでふふっ

何にも役目を

果たせていないではないですか

（やや左・近）

（冷たく、しかし甘く囁くように）

まあでもよろしいですわよね？

(嘲笑しながら)

あなたのちんぽは下を

向いて負け続けるのがお似合いですからね

(ゆっくりと囁きながら)

わたくしのちんぽの的になれただけで

今日のところは良しとして差し上げます

(左・密着)

(耳元で囁くように、支配的に)

良いですか？

(ねっとり囁き、ゆっくりと息を吹きかけながら)

オスのプライドゼーんぶかなぐり捨てて

しっかりわたくしにご奉仕なさい？

(優越感たっぷり)

それがあなたがいる存在価値

そのものですから

わかりましたか？

(トラック③逃げられぬ離れ小島)

(中・近)

(ゆっくりと、ねっとりとした口調で)

ほーら、しっかり舐めなさい？

(冷たく笑いながら)

わたくしの、ふっふっ、

あなたのおちんぽでは

ゼーったい満足させられない…

デカふたなり金玉の裏側にあるに

おまんこ様をベッドでナメナメして、

私にご奉仕をなさい？

もちろん、わたくしのおまんこを
ナメナメしている最中、

（嘲るように、見下しながら）

あなたも、

みっともなくそちんをチンズリシコシコしてゝ
惨めさを

しっかり感じなさい？

わたくしのことだけを思いながら、

恥ずかしいほどに必死で

ちんぽゴキオナニーしなさい？

（熱を帯び、息を荒げながら）

ああっ……わたくしは……ほーらっ………！

あなたにまんこ舐めをさせながら……

デカふたなりちんぽを……

足を思いつきり開いて……

デカデカおちんちん……ズリズリして……ッ……！

（全身を震わせながら、快楽を噛みしめるように）

おお……ッ

……感じる………感じるう……ッ……！

（息を乱し、興奮しながら）

毎日日課のオナニーに……

執事におまんこ舐め手伝いさせながら……

わたくしのガチガチ……

デカふたなりちんぽの先っぽを……

ああんっ……

ゴリゴリ………ゴリゴリしながらッ……！

（熱を帯びた喘ぎを交え）

でっかい………のカップある……

スケベおっぱいの………乳首引っ張りながらッ……

オナニーするのが
最高なおくくッー!!

(全身を跳ねさせるように)
おおふおおくくッ…
おちんぼキンキン来るくくッー!!

(吐息を荒げながら)
普段、自分のオナニーでは
手が足りなくて使わない
処女のおまんこ…舐めさせながら

(喘ぎながら、さらに興奮を強めて)
デカおちんぼの
……先っぽを……
グーリグーリしてえくくッー!!

おちんぼオナニーするの……
たまらないいいッー!!
んふおおお♡

(中・近)
(支配的に、見下しながら)
ほーら、
何をサボっていますの？

あなたもしっかり
オナニー頑張りなさい？

(相手を見下し、屈辱を与えるように)
主人がしっかりオナズってるんだから、
あなたもそのしよぼいちゃんんでシコって、
わたくしに

お付き合いをしなくては駄目でしょう？

（冷たく、意地悪く）

一人で勝手にイッたら、ふふっ、
その情けないちんぽ、
全力パンチして、

反省させますけどね？

（リズムよく煽るように）

ほーら、シコレ、シコレ、シコレ！！

マゾおちんぽ、おしやぶりさせて、
ズリズリ、ズリズリ、ズリズリ！！

（圧をかけるように）

チンコキ激しくしていますよ？

（オホオホ感じながら、喘ぎ混じりに）

ああ、おちんぽおちんぽ負けそう！！

デッカいおちんちん

両手でちんぽの竿と

亀頭をゴリゴリして

気持ちよくなって

負けちゃいそう〜！！！！

（喘ぎながら、抑えきれない快感を）

おお〜！！！！

まだ、まだ、まだ出せない！！

まだちんちんオナニー

頑張ってズリズリするから

まだ射精したくない〜！！！！

（オホオホ荒く息をつきながら）

オホッ！オホッ！オホッ！！！！

（大きな体を揺らしながら）

お屋敷中に響き渡るほどの

でっかい体のお嬢様チンズリ

めちやくちや盛り上がっちゃうのくくく！！

（興奮して高まりながら）

オナニーーオナニーー！！

チンコキオナニーマジで最高！！

（狂喜に満ちた声で）

ズリズリチンコキオナニーー！！

ふたなりちんぽをヒクヒクして

盛り上がっちゃうううくく！！

（射精を予感しながら）

ああ、

すごい、すごい、すごいくく！！

ヒクヒクちんぽの先っぽから

エッチなザーメン液

たーくさん垂れてきたくくく！！

おちんぽの先っぽから

たーくさんスケベ液分泌させて

ほーらーほーらー！！ほーらー！！！！！！

（軽蔑しながら、相手にぶちまけるように）

ああ、なっさけない執事に

おちんぽのああん液を引っ掛けながら

おちんぽゴシゴシ気持ちよくなっちゃううう！！

ほーらー！！

わたくしの

ああん、大量のアクメまんこ汁で

ゴボゴボ言っでないで、しーっかり全部、舐め尽くさない？

〜メートル近い巨躯のおまんこから出る
とーってもエロいドスケベまんこ汁
ありがたくナメナメなさいなー!!

(絶頂に向かいながら、全身を震わせ)
ああ〜〜!!

わたくし、わたくし!!
イク!!〜イク!!〜イク!!〜!!

オスにオナニーお付き合いさせて
それでちんぽ果てるツツ!!

(支配的に、ゆっくりと低く)
ほーらあなたに聞いてあげるわ。

(間を取り、挑発するように)
このオナニーで
ぶっ放すザーメン
どこにかけたらいいか…

ほら執事であるあなたが
指定してみなさい?

(クスクスと笑いながら)
ふふっそうです

ほーらそのマソ顔に
わたくしのザーメン
ぶっ放して差し上げますから
有り難く受け取りなさい?

(カウントダウンを支配的に)
ほーらイクわよ?

321!!

(全身を震わせながら、快楽に浸り)

デカふたなりちんぽから

ザーメン発射、でりゅっ！……！

(快感に身を震わせながら)

おお……出てる出てる出てる……！

大量びゅーびゅー射精……！

(嘲笑しつつ)

オスの顔面にぶっ放して

ドスケベオナニー

完了しちゃった、おお……！！

(勝ち誇るように、ゆっくりと見下しながら)

あなたも

だんだんわたくしのこと

分かってきたみたいねーふふっ♡

(少し間を置いて、満足げに)

わたくしが射精した瞬間に

その小っちゃいちんちんからも

お付き合いの

ぴゅっぴゅ射精してふふっ♡

なかなかやるじゃない♡

見直したわ。

(ゆっくりと、甘く囁くように)

それじゃあふっいいいわ？

わたくしが主人として

あなたに♡褒美をあげるふふっ♡

(左・密着)

(間を取り、冷たく支配的に)

抱いてあげるわ？

(息を吹きかけるように)

この意味、わかるわよね？

(やや左・中)

主人であるわたくしの寵愛を受けるように
せいぜい励みなさい？

うふふふふ♡

(トラック④ 巨大ふたなりの蹂躞)

(左・近)

(ゆっくりと、ねっとりとした口調で)
ほーら、

その3ヶ月間もオナ禁させて、

ちっちゃいちゃんのまま……ふふっ、

金属製の拘束具に入れた、

マゾおちんちん♡

(ゆっくりと支配的に)

もう、許して欲しい？

(クスクスと笑いながら)

ふふっ、そうなんだ、

わたくしに、

許しを請うなんて、

本当にいいのかしら？

あなたがもし、ふふっ、

あと一年間、

この状態のまま耐えられれば…

わたくしの処女、

あなたに、差し上げようと、

思っていたのに、ふふっ♡

(低く、冷徹に)

大丈夫ですよ？

主人に、ふふっ、

手を付けたからと言って、

わたくしは、本家から見放されている、
化け物ですから、

誰も、あなたのこと、

咎めたりはしませんよ？

(じわじわと追い詰めるように)
でも、代わりに…

ここで諦めてしまつては…ほら、

(デカちゃんぽを見せつけるように)
わたくしの、このでっかくて、
フル勃起しているおちんちんに、
即、抱かれてしまふんですよ？

(左・密着)

(ゆっくりと支配的に、復唱)

お尻をズボズボされている最中も、

ああ悔しい、ああ悔しい、

オスなのにー、ふふっ♡

もっと我慢出来れば、

あのデカ女の穴ボコまんこに、

ちゃんぽ突っ込んで、

びゅーびゅー射精して、

孕ませられたのにー、ふふっ♡

オナ禁耐えられなくて、
まけちゃっ

オナホになっちゃっ

(失笑するように)

そうやって後悔しながら…

自分のちんちんが騷けられて、
負けて、許しを請うて、

デカちゃんぽの肉オナホに、
されてしまうのですよ?♡

(相手の無様さを愉しみながら)

このでーっかいおちんぽでーっ
いくらケツアナ破壊されてー

ふふっ♡ 逃げ出そうと思ってもー
ぜーったいに、

誰も助けを差し伸べられない♡

ふふっ♡ 怪物女に、

無様で、情けなーく、

ケツまんこを食べられて、

二度と戻ってこれない♡♡

情けないおセックスを、

させられてしまうんですよ?♡

(ゆっくりと)

本当に、

よろしいのですか?ふふっ♡

(中・近)

(余裕たっぷり、勝ち誇ったように)

あーあ、ふふっ♡

(ゆっくりと、じわじわと)

わたくしのおちんぽに、

キス、キス、キス♡

(支配するように)

今すぐ抱かれないのね♡♡

(支配的に、見下しながら)

毎日毎日、ふふっ

この勃起できないおちんぽを

挑発するために

スケベな挑発をしまくったから

(相手の反応を楽しむように)

もうわたくしのことしか

考えられなくなってしまうのね

(クスクスと笑いながら)

いい塩梅ですわ

ほーらふふっ

もう一度あなたに

見せつけて差し上げますわ

(勝ち誇るように)

この二メートル近い巨軀を

象徴するようなふたなりちんぽは

あなたのことを確実に壊しますわよ？

(低く、支配的に)

これが欲しいのですか？ふふっ

(優雅に笑いながら)

あらあら♡

わたくしに縋り付いてきて

今すぐにでも抱かれたくて

たまらないのですね

(冷たく囁くように)

いいことですよ？

ほーらーふふっ

まずはあなたが超えられなかった壁…

金属製の粗チンを

収めている貞操帯を…

(強く握る音を想像させるように)

わたくしのほーら強い握力で

ああ〜♡

ねじり切ってふふっ

お久しぶりのおちんぽと

ご対面させてあげますわ

ほーら♡

(相手の反応を見て、楽しみに)

あーあふふっ

おちんちんも一緒に

ねじり切られてしまったかと思

いましたか？ふふっ

(見下しながら、軽蔑するように)

拘束具をねじ切られた瞬間に…

マゾ射精して

情けないですねー

でも、良いのですよ？

あなたのこの粗末な物には

ふふっ 出番はありませんから

(強く押し倒しながら)

ほーらー！！

正面からほーらー！！

ベッドに押し倒して…

(快樂に満ちた声で)

わたくしの

このデカふたなりおちんちんの
オナホになりなさい？

(左・近)

(支配的に、じっくりと相手を追い詰めるように)
でーっかいおちんぼ、

ほーら、あなたの体にごすりつけてー、

ふふっ、おなかのちよつと下くらいに、
とん♡とん♡とん♡とん

(相手を試すように、焦らしながら)
ここかしら？、ここかしら？

ケツ穴にズーボズボ
おちんぼを差し込んで、
ちんぼの先っぽが当たる、
オス子宮は、ここかしら、

ほーれほれ
とんとん♡とんとん♡

あーらあら、
わたくしの
ふたなりおちんちんで、
お腹をトントンするたびに…
ビクビク、ビクビクって
ふふっ、

(鼻で笑いながら)
メスイキ絶頂寸前まで追い込まれて…

まだオス処女のままなのに、
メスイキなんて…はしたなくしては、ダメですよ

ほーら、普通のセックスでは、
わたくしは、満足しません

（ゆっくりと相手を持ち上げ、優雅に）
そのひよろい体を、

ほら、わたくしが持ち上げて、浮かせてゝ
ほーら、今から、わたくしがあなたの体を、

すんと、と落とすと、

このケツ穴の入り口に当たっている、
あなたのこと、串刺しに致しますわよ？

（興奮を抑えつつ、囁くように）
ほーらー、じたばたしても、無駄

（クスクスと笑いながら）
逃げられませんか？

（支配するように、低く）
まるで、古代の処刑方法かの如く、
ふふっ あなたのこと、串刺しにして、
晒して差し上げますから
ほーらー、体離してあげる

（中・密着）

（楽しみに、ゆっくりと）
あーあ ケツ穴を締め付けて、
必死に、串刺しになるのを、防いでいますけど…

（唇を寄せ、耳元で囁く）
ほら、きしゅ、きしゅ、きしゅ
ドスケベなきしゅして
（キスフェラ 10秒）

ほーら だんだん、
わたくしの、ドスケベキスでゝ

(復唱する感じで)

ケツ穴が、徐々に開いて、

ああー 負ける 負ける

体の重みだけで、

だんだんちんぽ、

ケツ穴に

ズブズブツツ〜って入ってきて、

下から、串刺しになっちゃううう

ほーら、

串刺し〜

(中・近)

(満足げに、支配的に)

ああ〜

入っちゃった 入っちゃったー ふふっ

まだわたくしのおちんぽの、

三分の一も飲み込めてないのにー？

ふふっ あなたのケツ穴、

奥まで貫いていますわよ？

(ねっとり、支配的に)

ほーら、腸壁に届いている、

わたくしの、ちんぽ亀頭を、

(ゆっくりと擦るように)

ゴシ、ゴシ、ゴシ、ゴシ

ああー

あなたの内臓をゴシゴシすると、

ピクピク ピクピクーツ

全ての臓器が連鎖反応で

感じているのが、

分かりますよ？

わたくしのちんぽに、

それほど、支配されたいのですか？

(腰を振りながら)

ほーらもっと、

ズボズボズボズボ

(激しく息を荒げながら)

ああ わたくしのおちんちん、

半分ほど受け止めて、

これで、さすがに限界ですか？

(冷たく、突き放すように)

それでは、ほーら、

腰をへこって、下から突き上げて、

(息を乱しながら)

おお♡おお♡おお♡おお♡♡

(激しく腰を打ち付けながら)

おちんぽ おちんぽ

おちんぽ 亀頭が、 ああん

オスケツ穴

熱い体液に溶かされて、

ああー おちんぽ感じる♡

(興奮の絶頂に達しながら)

細胞の一匹一匹で、

内臓を全部、

ぐちゃぐちゃにしてるのが分かるぅぅ♡♡

(支配の頂点に立ちながら)

ほーら この化け物のわたくしを、

あなたは、

しっかり、

受け止められるかしらっ？っ

（相手を試すように、低く）

誰一人、わたくしのことを、

受け止めきれなかったのですよ？

（左・密着）

（支配を決定づけるように、深く打ち込む）

あなたは、わたくしのこと、

ぜーんぶ受け入れて、

わたくしを、化け物を、

辞めさせていただけますか？

（執拗に打ち付けながら）

ほら ほら ほら

（中・密着）

（快楽に震え、狂喜に満ちた声で）

ああ〜っどんどん入るうー！！

あなたの体わたくしのちんぽを

ぜーんぶ受け入れて

ほーら内臓をすべて

わたくしのちんぽが入るように

ふふっ♡押しかけて♡

ああ〜

入ってしまいましたわ♡ふふっ♡

（下腹部を撫でるように、興奮しながら）

おなかボコって♡

わたくしのちんぽ亀頭の形になってしまっ

てふふっ♡とても卑猥ですね

（支配的に、しかし甘く優しく）

ほーらそれではあなたのその

覚悟のある♡奉仕♡

(じわじわと追い詰めるように)

わたくしがしっかり

使い潰して差し上げますわね?♡♡

(激しく息を吐き、興奮を抑えきれず)

オホ♡ オホ♡ オホ♡

おちんぼ♡ おちんぼ♡ 気持ちいいっ♡

(腰を激しく打ちつけながら)

どんどん♡

どんどん♡ ヘコヘコ速度上がって♡

おちんぼ♡ スリズリ擦りつけるの♡

気持ちよき過ぎるぅ♡♡

(優越感たっぷりに、嘲るように)

ほーら♡ ほーら♡ ほーらぁ♡♡

(ねっとりを見下すように)

わたくしがしっかり見ていますわよ?♡♡

わたくしのことを

ゼーんぶ受け入れた♡

紳士様のことをね?♡

(興奮を抑えきれず)

ほーらだから♡

わたくしの子種汁も

最後まですべて受け入れてください?

(愛おしそうに、支配的に)

あなただったら♡ ふふっ♡

わたくしのすべてを差し上げても

宜しいですからね?♡

(狂氣的に楽しげに)

ほら♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

(やや左・密着)

(全身を震わせ、甘く熱っぽく)

あああ♡ おちんぼ♡ おちんぼお♡

(狂喜に満ちた声で、ゆっくり)

今すぐ♡ ザーメン捻り出して

金玉に溜まった幸せザーメン♡

ぜーんぶ♡ ああ♡

(息を荒げながら、狂おしいほどの快楽に溺れ)

このオス穴に

びゅーびゅーびゅーびゅー♡

(囁くように)

吐き捨てたいの♡

(支配的に命令するように)

ほーら♡自身で言うてくさい？♡

(優しく囁きながら)

わたくしの子種は♡

どちらに

お出ししたらよろしいのですの？

(クスクスと笑いながら)

ふふっ♡ そうですか♡

(満足げに)

あなたの一番奥に♡

ほら♡ わたくしのために

用意したオス子宮に♡

わたくしのすべてのザーメンを♡

ぶりぶりぶり付けて

差し上げますからあ♡

しーっかり♡

ご用意してくださいね？♡

(最後の絶頂に向かい、激しく動きながら)
ほー♡ 出る♡ 出る♡ 出る♡

(腰を限界まで打ちつけながら)
ちんぽのへこへこ速度マックスにしてえ♡

(息を荒げ、全身を震わせながら)
濃ゆい♡ ザーメン♡
(狂おしいほどの快楽に飲まれながら)
オス子宮に中出し♡

(左・密着)

(支配的に、快楽に震えながら)
さーん♡

(荒い息を漏らしながら、力強く腰を打ち付け)
ほー♡

へこへこ♡ へこへこ♡ へこへこ♡

(全身を揺らしながら、快楽を存分に味わい)
わたくしのデカい体を♡
あなたのためにゼーんぶ使って♡

(甘く、しかし圧倒するように)
ほー♡ ああん♡ まるで
巨人が大鉈を振るう如く♡
ふふっ♡

(圧を強め、激しく動きながら)
わたくしが全力で
ズリ付けて差し上げていますわよう♡

(中・密着)

(さらに強く突き込む)
にーい♡

ほーら♡ ああん♡ 体

もう内臓グツチョングツチョンに♡

もうわたくしのことしか

目に見えていませんわね♡

(満足げに笑いながら)

とーっても素敵♡

ほーら♡ 人間やめて♡

わたくしの専属のオナホ執事に♡
なっていたけるんですわね?♡

(腰を強く打ち付けながら)

もうすぐですわよ

(左・密着)

(全身を震わせ、絶頂に向かいながら)
いーち♡

ほら♡ わたくしの

デカデカおちんちん♡

普段よりも1.2倍は大きくなって♡

世界一のふたなりイチモツに♡
なってますわ♡

(支配しながら、激しく突き上げ)

ほーら♡ 受け入れなさい♡

わたくしの金玉は♡

おちんぼ竿にふたなりザーメン上げて♡
中出しの準備♡ 完了していますわよ♡

(最後の一突きを強く、圧倒するように)
ほーら♡出る出る出るううう♡
すべてを♡
受け入れなさい

(絶頂へ向かい、声を震わせながら)
ほら♡イクわ♡
ゼロ♡ゼロ♡ゼロツツツ

(全身を震わせ、爆発するような快感で)
本気ザーメン♡
中出し♡
イツキゅつつつつっ!!--!--!!♡

(全身を仰け反らせながら、声を張り上げ)
おお〜♡
出てる♡出てる♡出てるううう♡

(息を乱しながら、最後の一滴まで)
オスの一番深いところ♡
内臓にびゅーびゅー♡
びゅーびゅー♡びゅーびゅー

(全身を震わせ、満足げに)
わたくしのDNA
全部届けて♡

完璧に犯して差し上げましたわ♡

(やや左・近)
(ゆっくりと、甘く囁くように)
あーあ♡
(クスクスと笑いながら)
あなたからも気持ちよかった証♡
勃起してないちんちんからのお漏らしびゅっびゅ♡♡

しーっかりとわたくしが

見届けて差し上げましたわ？♡

(中・近)

ほーら♡

お疲れふたなりおちんぼ様♡♡

(愛おしそうに囁きながら)

わたくしの労をねぎらうかのように

口できしゅ、きしゅ、きしゅ♡♡♡

(狂気的な甘さを込めて)

まだ♡ 残りザーメン♡

オスケツ穴で♡

徐々に注いでいる最中の♡

ドスケベなキス♡

た・ま・ら・ない♡♡♡♡

(少し間を空けて、ねっとり)

ほーら♡ わたくしふふっ♡

初めてのちゃんとした

ふたなりおセックスが出来た気がしますわ♡

(微笑みながら、しかし狂気を含ませて)

もう♡

二度とあなたのこと離せなくなってしまうそう♡

(きらに囁くように、耳元で)

でもいいすわよね

(ゆっくりと、支配的に)

わたくしを化け物から

人間に戻してくれたあなたは♡

ふふっ♡ 一生わたくしと

一緒に居る責任がいますの♡♡♡♡

(笑いながら、しかし目は真剣に)

だからふっ♡♡♡

ぜーったい♡

(囁きながら、執着を込めて)

離れてしまっは

♡ダメですよ?♡♡♡

(相手の返事を待たず、断言するように)

わかりましたか?♡♡♡